

仕切り直して ひながたの道を辿ろう

第4回 ようぼく一斉活動日

ねりあい (札幌東)

北海道
教区報

第611号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話 011 (561) 1148
FAX 011 (561) 1190
E-mail: tenrikyohk@gmail.com
ホームページ
<https://tenrikyohk.com>



すべて喜び

すべておたすけ

北海道教区

教祖 140 年祭 北海道教区スローガン



おつとめ (北見)

ようぼく一斉活動日
第4回目の「ようぼく一斉活動日」が5月31日、6月1日の両日、道内35会場を含む国内外の計742会場で実施された。
これは、教祖140年祭へ向かう三年千日において、同じ地域に住まうようぼくが互いに励まし合い、勇ませ合って、それぞれの教会や個人の年祭活動に弾みをつけることを目的とするもの。年祭活動期間中に全5回、教区・支部の運営のもと実施される。



ビデオメッセージ視聴(苫小牧)

れる。

内容は、おつとめ、「諭達第四号」拝読、教会本部からのビデオメッセージのほか、会場ごとに独自のプログラムが設けられている。参加者は、講話やねりあい、感話、おさづけの取次ぎ、てをどり練習やにをいがけ実動などを通じて、自らの信仰を見つめ直すとともに、年祭まで残り半年余り、心を仕切り直して、たすけ一条のひながたの道を辿らせていただくことと誓い合った。

次回第5回目は、11月1日、11月2日の開催。



にをいがけ実動(宗谷)



講話(札幌北西)



てをどり練習(宗谷)

北海道教区のホームページ〈<https://tenrikyohk.com>〉で教区報がご覧頂けます

定例にをいかけ

やまびこ会

布教を志す者の会「やまびこ会」では、6月16日、4名が参加し、教務支庁周辺を約1時間ほど戸別訪問にまわり、布教活動を行った。

玄関先におられた方に声をかけ、笑顔でリーフレットを受け取ってくださるなど在宅の方が多い実動となった。

やまびこ会活動でにをいのかかった50代男性のAさんが、この日、初めて教務支庁を訪れ、神殿で参加者と一緒に初参拝をし、その後、Aさんへおさづけの取次ぎが行われた。

やまびこ会は、3年前の7月



玄関先の方に笑顔で声がけを



戸別訪問

海外の方へにをいかけ

● 札幌東支部布教部（御殿瑞穂布教部長）は、6月8日、よさこいソーラン祭りの最終日

で賑わう大通公園周辺で、海外からの観光客に向けて布教活動を実施。支部と外国語に堪能な有志の6名が参加した。

出発前、英語での路傍講演の練習を行い、市役所前や駅前通りで英語、インドネシア語、スペイン語、ベトナム語、日本語の路傍講演を順番に行い、中国語はスマートフォンより再生して行った。

パンフレットは、英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、インドネシア語、インド、タイ、ベトナム、ドイツ、モンゴル、台湾と各国からの観光客に対応できるよう持参した。

路傍講演中に、中国系アジア



各国の紹介パンフレット



中国語の旗



よさこいで賑わう大通で路傍講演

人の方に質問される場面もあり、外国語のパンフレットが早速役立った。また外国語で路傍講演をしている時に、他宗教の知人が通りかかり、わざわざ差入れを持ってきて下さり、人との出会いとつながりの大切さを実感する布教活動となった。

前期支部担当者会議

福祉厚生部

福祉厚生部（岡崎秀人部長）は、6月15日、前期支部担当者会議を開催し、14名が参加した。

会議は、完全オンライン会議で行われ、福FES、里親、福祉募金、子ども食堂など様々な議案が上げられ、それらに関する各種提案が行われた。

また福祉募金のあり方や里親大会の寄付金についても話し合われた。

今年度の重点活動である福FESへの協力体制のお願いなど、今後は、各支部担当者と教区福祉厚生部がしっかりとコミュニケーションを図り、支部、地域の福祉活動に目を向ける必要性を感じる会議となった。



オンライン会議画面

年祭の「証し」

— 苦小牧支部長 岩倉 英博 —



苦小牧市・白老町からなる当

苦小牧支部は人口増加に伴い分離独立した比較的新しい支部と云えます。又、近くには北海道の空の玄関、海の玄関とも云える新千歳空港やフェリーターミナルがあり交通の便にも優れた土地柄で王子製紙の工場や石油備蓄タンクや様々な工場の立ち並び工業地域でもあります。

教会数は18か所となり皆、支部活動を通し各教会の教勢充実へ繋がる様にと活動しております。

今の旬は来る1月26日と迫り待たせて頂く、おやさま140年祭へ向けた年祭活動仕上げる年であり信仰する者として大変に大切な旬と歩んでおります。

私はこの年祭活動で一つ大きく心した事があります。それは私共の大会会長様からいただいたお手紙に記されておりました。そこには、自分自身が年祭を迎え終えた後に、おやさまにお喜び頂けたと心から思える「一つの証」をつくりなさい。

とありました。

これまでを振り返ると教会長として迎えた最初の年祭は10年前の130年祭でした。団参や修養科生、別席者へと繋がる丹精と、にをいがけ・おたすけにと懸命に通らせて頂き、大きな御守護も戴きましたが、恥ずかし乍ら自分自身やり切った感を持てずにおりました。「もつと出来た事があったのではないか。」そんな思いを持つ中での大会会長様からの「一つの証」とのお便りでした。

私共の教会は昭和40年に設立のお許しを戴きましたが、初代は材木業を営んでおり、三代目である父が45歳に道専務となりました。私が小学校高学年の頃まで家業と教会との二道でありました。私が小学校高学年の頃父が教会へ入込み道一条と心を定めてからは連日教会では身の上・事情をもつ方々との、おたすけの日々を子供ながらに見て育ちました。住み込みの人も常に何人も居り、時には住み込みさん達で大喧嘩しているのを仲

裁したり、住み込みさんの借金を取り立てに来た人にも神様の話をして神殿で参拝して頂いたりと、いつも活気があり賑やかな毎日でした。

私も結婚し子供も授かり30歳の時、父の身上から、心を定め3年間、家族で布教へ出させて頂きました。北海道最北の地、浜頓別での3歳と1歳の子供達と共に通らせて頂いた泣き笑いの布教道中の思い出は私の信仰生活序盤の一種の「証」とも云える日々でありました。

この度のおやさま年祭へ向けでは、これまでの反省も含め一杯の働きを自身に科すことを掲げ、布教師としておたすけの日々は勿論ですが、支部活動を始め、18年前から始めた保護司活動、3年前から始めた里親活動に於いても周囲の方達から願われる役職等を今は全て受けさせて頂き沢山の仲間達や諸先輩方のお支えも頂きながらつとめさせて頂いております。これも「証創り」と言い聞かせて。

この度の原稿依頼テーマでもありますが最後に直近で、深く神様を感じたエピソードを。7年前の令和元年12月、父の出直しの際の事です。83歳の父が肺炎が重症化し出直しの1日

前、一人部屋の病室には20人近くの親族が集まり、父からすると14人の孫たちは、高校生の子を除き全員ようぶくであり、一人ひとり意識の無い父に最後のやさづけを取次がせて頂きました。

母が取次ぎの後、会長である私に「会長さん最後に、たいしよく天の神様にお願ひして楽にお出直しさせてもらって」との事、私も万感の思いで取次がせて頂きました。

その後、日付が変わり深夜大勢の親族が見守る中、息を引取りました。その瞬間、母が今何時？との声に一齐に皆が時計を見ると午前3時ちょうど。時間に厳しかった父らしいと口々に話していました。

後日、身上の方のおたすけの際、十全の守護について話をさせて頂く中、ふと気がつきました。たいしよく天のみこと様のお時間は午前3時とあり、鳥肌の立つ思いでした。親神様の御守護の偉大さと共に父は最期の最期の出直しの時にさえ私達に神様のお働きの素晴らしさをお伝え下されたのだと。

残す所半年、「証」創りに頑張る所存です。

にをいがけ Walker 北海道

布教部（内田誠司部長）は、6月8日、にをいがけ Walker を行い、13名の参加者が、それぞれの住む地域からオンライン上に集合した。

内田部長の挨拶後に、それぞれの地域で路傍講演、神名流し、戸別訪問、おつとめ、リーフレット配りなどの実動を行なった。

1時間後、再度オンライン上に入室し、それぞれの活動報告がされた。

・毎月実施中

詳細などは教区布教部まで。



オンライン画面の様子

お詫び

教区報610号（6月号）の1ページ学生会委員長の名に誤りがありましたので、訂正致します。

×野村夏美 ↓ ○野村夏実

ご迷惑をお掛け致しました事をお詫び申し上げます。

支部総会報告

● 倶知安支部

倶知安支部（加藤道典支部長）では、6月16日、蘭越分教会にて支部総会を開催し、28名が参加いたしました。



● 一手一つお願いづとめ

支部長会議日に教務支庁にて、午前9時より



YouTube
でも配信しております。



天理教基礎講座

ビデオとお話で
天理教の紹介をします

・ 日 時
7月13日 (日)
13:30-15:00
(受付 13 時～)

・ 会 場
天理教北海道教務支庁

・ 受講年齢
15歳以上

・ 受講御供
500 円



・ お問い合わせ
天理教基礎講座事務局
北海道会場

● ふせこみひのきしん

教務支庁にて毎月29日

5月29日は、玄関、各会口
ビー、廊下、階段、トイレ掃除
と大小会議室、神殿掃除、畳拭
きスリッパ拭きを行い、13名が
参加下さいました。



詳細は、HPにて



北海道教務支庁日誌抄

30日	29日	28日	27日	26日	25日	23日	22日	21日	18日	16日	7日	4日	2日	6月1日			
たすけ推進会議	基礎講座係員研修会	教務支庁ふせこみひのきしん	教区長帰庁	婦人会支部主任交流会	本部月次祭遥拝式	教区長帰本	学生会 6月ご飯会	余市支部婦人会例会	学生会例会	会計部会議	やまびこ会	青年会 Meets!	札幌中南支部例会	地方委員(決算)会議	支部長会議	一手一つお願いづとめ	第4回ようばく一斉活動日

けいじばん

◎法律に関わる諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。所属教会を通して教務支庁書記・渡部までご連絡下さい。

◎毎月26日に本部月次祭遥拝式を午前10時より行っています。

◎ホームページでは、教区報に未掲載の記事や投稿いただいた記事も随時掲載しています。また記事の投稿もよろしく願います。

◆ やまびこ会のご案内 ◆

布教を志す者の会として、にをいかけ活動を中心に実動しています。どなたでもご参加いただけます。

次回は、7月16日13時30分
教務支庁集合

計報

立教一八八年・令和7年

・西山 卓子様 4月29日出直 (104歳)
本案分教会前会長 (室蘭支部)
・細木 久子様 5月23日出直 (87歳)
六踏分教会一代会長 (小樽支部)